

つ な が り

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり
政策	08 尊ぶ
施策	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	136,273千円	118,397千円	117,237千円			371,907千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国際化推進事業	401千円	8,761千円	0千円	9,162千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
人権啓発推進事業	3,707千円	17,522千円	0千円	21,229千円	市民生活部 人権推進室
市民平和推進事業	346千円	0千円	0千円	346千円	市民生活部 人権推進室
子どもの人権オンズパーソン事業	28,345千円	3,961千円	0千円	32,306千円	市民生活部 人権推進室
人権教育推進団体等支援事業	5,471千円	8,761千円	0千円	14,232千円	市民生活部 人権推進室
隣保館運営事業	10,003千円	17,522千円	0千円	27,525千円	市民生活部 総合センター
総合センター維持管理事業	11,192千円	0千円	1,245千円	12,437千円	市民生活部 総合センター

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	・若干ではあるが、上昇の傾向にある。		
	目標達成に向けた今後の課題	・引き続き市民啓発を推進するとともに、人権的視点で種々の行政施策をチェックしていく。		
	担当課	市民生活部 人権推進室		

評価指標				傾向
2 小中学生のオンズパーソン認知率	定義	方向性	子どもの権利条約にもとづく実感調査より	<p>小中学生のオンズパーソン認知率</p>
	実績値の評価・分析	・少しずつではあるが、上昇傾向にある。 (実感調査は2年に1度実施)		
	目標達成に向けた今後の課題	・引き続き、小中高生等にリーフレットや電話カードの配布などでの制度の周知に努める。 ・ホームページの活用や新たな子ども向けチラシの発行など、広報・啓発活動の充実に取り組んでいく必要がある。		
	担当課	市民生活部 人権推進室		

評価指標				傾向
3 隣保館来館者数	定義	方向性	各年度末の来館者数	<p>隣保館来館者数</p>
	実績値の評価・分析	来館者が減少したのは、平成26年8月1日にオープンしたアステ市民プラザに、引き続き利用者が流れたことが主な理由である。		
	目標達成に向けた今後の課題	引き続き総合センターだよりやホームページの充実を図り、当センターの認知度を高め、目標値の達成をめざしていく。		
	担当課	市民生活部 総合センター		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向												
4 姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合</p> <table border="1"> <caption>姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>15.1</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合 (%)	基準値	15.1	H25	21.5	H26	20.7	H27	17.7	目標値	25.0
	項目	割合 (%)														
	基準値	15.1														
	H25	21.5														
H26	20.7															
H27	17.7															
目標値	25.0															
実績値の評価・分析		前年度より3ポイント減少。														
目標達成に向けた今後の課題		ポーリング・グリーン市の公立図書館、西ケンタッキー大学図書館と中央図書館の図書交流や、本市の小学校とポーリング・グリーン市の小学校で図画工作や書道の作品の交換を通じて市のPRを行う。														
担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課														

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	08 尊ぶ							
施策	42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします	コスト合計	91,311千円	91,924千円	91,302千円			274,537千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度			合計	担当課
	事業費	職員人件費	公債費		
男女共同参画推進事業	1,924千円	8,761千円	0千円	10,685千円	市民生活部 人権推進室
男女共同参画センター運営事業	33,179千円	0千円	47,438千円	80,617千円	市民生活部 人権推進室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 性別による固定的役割分担を否定する市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>性別による固定的役割分担を否定する市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		割合は、上昇の傾向にある。	
	目標達成に向けた今後の課題		男女共同参画社会の実現をめざした講座の開催や広報かわにし「男女共同参画特集号」の発行などの取り組みにより目標値の達成に向け、引き続き「第3次男女共同参画プラン」の着実な推進を図っていく必要がある。	
	担当課		市民生活部 人権推進室	

評価指標				傾向
2 審議会等への女性委員の登用率	定義	方向性	女性委員数÷全委員数	<p>審議会等への女性委員の登用率</p>
	実績値の評価・分析		目標値30%の達成をめざしているが、ここ数年は、横ばい状態である。	
	目標達成に向けた今後の課題		審議会等への女性委員の登用率向上のため、各審議会事務局へ個別に女性委員の登用促進の依頼を行うなど、今後も目標値の早期達成に向け、全庁的な理解が得られるよう働きかけが必要である。	
	担当課		市民生活部 人権推進室	

評価指標				傾向
3 男女共同参画センター登録活動団体数	定義	方向性	男女共同参画センターへの活動団体登録を行っている数	<p>男女共同参画センター登録活動団体数</p>
	実績値の評価・分析		昨年度は、メンバーの高齢化等により活動を中止した団体もあったが、今年度は1団体増加した。	
	目標達成に向けた今後の課題		男女共同参画センターで実施している講座に参加された方々による新規活動団体の立ち上げなど、さまざまな施策を通じて登録活動団体の増加に繋げる。	
	担当課		市民生活部 人権推進室	

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	09 関わる	市民の声を聴き、 43 情報の共有化に努めます	139,366千円	135,656千円	127,580千円			402,602千円
施策								

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度			合計	担当課
	事業費	職員人件費	公債費		
情報公開事業	2,232千円	8,761千円	0千円	10,993千円	総務部 情報政策室
広報事業	34,732千円	43,805千円	0千円	78,537千円	総合政策部 かわにし魅力推進室
広聴事業	982千円	12,722千円	0千円	13,704千円	市民生活部 生活相談課
市民相談事業	6,824千円	17,522千円	0千円	24,346千円	市民生活部 生活相談課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
必要な市の情報が入手 1 できると感じている市民 の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合</p> <table border="1"> <caption>必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>64.8</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>69.7</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>60.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>62.1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>66.5</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>66.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	基準値	64.8	H25	69.7	H26	60.1	H27	62.1	H28	66.5	目標値	66.5
	項目	値																
	基準値	64.8																
	H25	69.7																
H26	60.1																	
H27	62.1																	
H28	66.5																	
目標値	66.5																	
実績値の 評価・分析			リニューアルした広報誌の認知向上、およびSNS等の活用により、数値は上向いてきている。															
目標達成 に向けた 今後の課題			広報誌の充実を図ると同時に、ホームページ、SNSなど若年層に届く媒体での情報発信をさらに強化し、幅広い年代に受け入れられるよう、見せかたを工夫する必要がある。															
担当課			総合政策部 かわにし魅力推進室															

評価指標				傾向														
市民の意見や考えなどが 2 市に届いていると感じて いる市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合</p> <table border="1"> <caption>市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	基準値	18.3	H25	19.2	H26	14.0	H27	18.7	H28	19.0	目標値	19.0
	項目	値																
	基準値	18.3																
	H25	19.2																
H26	14.0																	
H27	18.7																	
H28	19.0																	
目標値	19.0																	
実績値の 評価・分析			平成26年度は目標値を大きく下回っていたが、平成27年度は目標値まであと少しまで回復した。															
目標達成 に向けた 今後の課題			市に届いた意見や提案を的確に市政に反映させ、市のホームページ(よくある質問等)を通じて市民への情報提供を図りつつ、更なる市政の透明性の確保と情報共有の向上に努める。															
担当課			市民生活部 生活相談課															

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	09 関わる							
施策	市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	コスト 合計	91,119千円	106,614千円	71,935千円			269,668千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
コミュニティ推進事業	28,047千円	8,761千円	5,925千円	42,733千円	総合政策部 参画協働室
自治会支援事業	11,859千円	8,761千円	0千円	20,620千円	総合政策部 参画協働室
市民活動推進事業	8,582千円	0千円	0千円	8,582千円	総合政策部 参画協働室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	昨年度より1.2ポイント増加しており、一定数の市民が継続的に地域活動を行っていることが考えられる。		
	目標達成に向けた今後の課題	担い手の高齢化・固定化が進む中で、これまで活動に参加していない若い世代や地域活動に熱意のある方の参加を促進する取組が必要である。		
	担当課	総合政策部 参画協働室		

評価指標				傾向
2 ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	昨年度より1.5ポイント低下しており、活動に参加するきっかけが少ないことや、活動の実態を知らない人が多いと考えられる。		
	目標達成に向けた今後の課題	市内で活動するボランティアやNPOについて、広く市民に周知し、活動に参加するきっかけとなるような機会を増やしていく必要がある。		
	担当課	総合政策部 参画協働室		

評価指標				傾向
3 自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	昨年度より1.6ポイント低下しており、近隣社会などに頼らなくても不便さを感じさせない生活環境が影響していると考えられる。		
	目標達成に向けた今後の課題	災害時など、市民同士の支え合いが必要不可欠であることから、相互の支え合いが意識できる取組が必要である。		
	担当課	総合政策部 参画協働室		

